

議会だより

福島県中島村議会



<小正月の行事「団子さし」>

川原田地域資源保全会は、1月14日(土)に小正月の行事の団子さしを地域の皆さんで行いました。

小正月は、農家に結びついて各地で行われ、豊作等を願い行われる行事でした。

団子さし(餅花)は、ミズキの枝に餅や団子をさして飾る家庭的な行事でした。

- ◇ 第4回定例会・補正予算 2
- ◇ 人事案件・村長行政報告 3
- ◇ 一般質問 4～7
- ◇ 議会のうごき、議員視察・編集後記 8



なかしぞうさん

〈一般会計補正予算〉

1億8,034万円減額補正を可決 予算総額39億8,871万円に

第4回 定例会

歳入の主なものは、国庫補助金等で、1,180万円、前年度繰越金1億6,708万円、村債680万円の増額と、県補助金1億9,986万円、繰入金1億6,734万円等の減額です。

歳出の主なものは、寄付金の人材育成基金への積立金200万円、臨時福祉給付金費1,720万円、消防施設維持補修費162万円等の増額と年金生活者支援臨時福祉給付金645万円、除染対策事業委託費2億円等の減額です。

会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億8,034万円	39億8,871万円
農業集落排水処理事業特別会計	44万円	2億5,012万円
介護保険特別会計	4,497万円	4億9,492万円

第4回議会定例会は、12月9日から14日までの会期で開催しました。

今定例会では、補正予算3件、人事案件3件が村長から提出され、原案のとおり可決しました。

一般質問では、4名の議員が登壇し、四穂田古墳の具指定、農業施設の大規模改修、交通安全対策、災害備蓄倉庫など村の考えを問いました。

補正予算質疑



小室 辰雄 議員

問 除染対策交付金2億円減額の説明を。

答 生活支援対策室長

除染対策事業の委託料で、生活圏の森林除染で1億円と事業所除染で1億円、計2億円の減額です。

当初予算は、前年度と同規模の予算措置を

しました。

昨年度は、6万平米でしたが、今年度は、現在の見込みで、約3万平米となってきました。また、事業所除染は、対象事業者が37事業所うち2事業所となったことから2億円の減額となりました。



小林 均 議員

問 地方創生事業と森林環境交付金事業の予算の組み替えの説明を。

答 企画振興課長

地方創生事業は、当初事業の中で補助対象部分と補助対象外の部分があることがわかり精査を行いました。

今回の予算の組み替

えは、補助対象外を除き、補助対象事業のみで行うためのものです。

減額する部分は、研修視察の旅費や定住アドバイザーの報償などです。増額する部分は、首都圏等でのPR活動を行うための映像放映に関する委託料です。

童里夢公園の 森林整備に活用

森林環境交付金事業は、補助金十割で行っている事業で、童里夢公園なかじまの森林整備を行っています。

今回の補正は、報償費と需用費を減額して、委託費を増額するものです。報償費は、会議の委員報償で、既に委員会を開催し、不用額ができました。需用費についても精査した結果、不用額ができました。この不用額を森林整備に充当し事業効果をあげるものです。

人事案件

村長行政報告

△敬称略▽

◎同意した人事

◇中島村教育委員会

委員の任命

氏名 小室 孝平

(代畑)

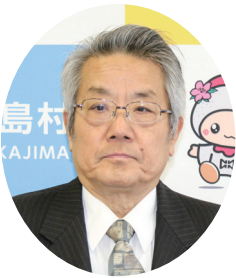


◇中島村教育委員会

委員の任命

氏名 水野谷 剛夫

(滑津原)



△敬称略▽

◎意見を求められた人事

◇人権擁護委員候補者の推薦

議会の意見「適任」

氏名 有松 徳一

(元村)



飼料用米増で

過剰作付が解消

16年産米の米価は、飼料用米の増産政策等による過剰作付の解消が見込まれ、昨年に比べ上昇しました。

原発事故以来6回目となる米の全量・全袋検査は、例年同様本村で生産された出荷米、保有米は全て基準値未満であり、安全性が確認されました。

中島中の修学旅行
マレーシアへ

9月12日から4日間の日程で、中島中学校のマレーシアへの修学旅行が実施されました。イナナムセカンダリースクールを訪問し、現地生徒との交流、マン

敬老会
430名が出席

9月21日には、敬老会が輝ら里で開催され、75歳以上の方、430名の出席をいただき盛大に開催することができました。

多面的機能支払交付金
事業8地区で実施

多面的機能支払交付金事業は、今年度1地区を加え、村内8地区で事業が実施されています。

なかじまの里スポーツ
フェスタを開催

10月16日には、なかじまの里スポーツフェスタイバルが改善センターグラウンドで行われ、多くの村民が参加いたしました。「笑顔で走る」をオープニングに

各種個人競技と部落対抗綱引き、学区対抗リレーなどの競技が実施され、笑いや応援で大変盛り上がりを見せておりました。



輪投げを楽しむ親子

村の部3位入賞

ふくしま駅伝は、11月20日に開催され、白河市から福島市までの16区間、95・1kmのコースを各選手が力走しました。結果は、5時間30分46秒のタイムで総合22位、村の部3位入賞を果たす大健闘でした。選手一人ひとりが持てる力を十二分に発揮した結果と思っています。

問

四穂田古墳の県指定文化財申請の考えはあるか。

答

県文化財の指定候補にあげるための

所要の手続きを進めている



小室 重克 議員

問

町畑地区の共同

墓地で発見された短甲を含む出土品は、11月の村文化祭に出土品の特別展示が行われました。

県立博物館の高橋学

芸員の説明では、豊富な副葬品を出土する中期古墳は県内では少なく、大変重要な遺跡となる説明がありました。3点ほど質問します。

①四穂田古墳の福島県指定文化財の申請の考えはあるか。

②古墳の規模、墳形調査の予定はあるのか。

③古墳の看板等の予算措置の考えはあるのか。

答

教育長

平成23年9月町畑地区の共同墓地で発見された出土品の鉄止短甲は、東北地方初であること、副葬品が豊富であることから学術的にも大変貴重なものです。

四穂田古墳の出土品は、平成26年から3年間をかけて保存復元作業を進めてきました。

今年度保存復元作業が終了したことから、文化祭において特別展示会を開催しました。

古墳の県指定文化財の申請ですが、県文化財の指定を受けるには、村文化財の指定が必要です。本年度中には、四穂田古墳からの出土品について、中島村文化財に指定する方向で準備を進めています。

その後、県指定文化財への申請を考えています。

一般質問



出土品の鉄止短甲



特別展示の様子

古墳の規模、墳形調査
早急の調査は困難

四穂田古墳からの出土品、特に鉄止短甲の状況から、古墳の年代は5世紀前葉と考えられ、県南地域最古の古墳という可能性がある。

そのことを明らかにするためには、古墳の規模、形状を調査しなければなりません。この場所は、共同墓地であることや圃場整備が済んだ田んぼであるこ

説明看板等の予算措置
四穂田古墳の場所は、四穂田古墳調査報告会や今回の特別展示会で話題になり、見学に訪れる方もおります。

今後も見学者が予想されますので、四穂田古墳からの出土品の解説と概要をまとめた看板を設置しています。現在の看板は、仮の看板ですので、共同墓地の管理者から承諾を得て、しっかりした説明看板を設置するため、平成29年度の当初予算に計上することを考えています。



仮設の説明看板



椎名 康夫 議員

問 老朽化に伴う農業用施設の改修を
どのように考えているか。

答 土地改良区で検討され、その結果を基に協議したい。

問

農業用施設は、老朽化が進んでいる。今後、大規模改修が必要となるが、村はどう考えているか。

答

村長

農業用水利施設ですが、これらの用排水路は、第1次農業構造改善事業や県営圃場整備事業等で整備された水路であり、中島村土地改良区が所管する施設であることから、土地改良区で検討するのが第1義と考えます。村長という立場では答弁を控えさせていただきます。村として、土地改良区で検討され、その結果を基に必要に応じて協議したい。

問

農業土地改良事業の補助事業は、どのようなものがあるのでしょうか。

答

村長

ほ場整備の補助事業は、担い手、農地中間管理機構を利用した集約化が主な補助事業です。

幹線水路の改修となると、大規模改修となります。予算規模も相当大きな金額になります。土地改良区の単独ではできない事業になります。村としても補助を考えなくてもいい。また、受益者負



修繕を行い使用されている水路

担も発生することもあります。土地改良区の方で受益者と協議を重ねていただきたい。

問

土地改良区が方針をある程度決めて、村へ助成をお願いすれば事業は可能ということでしょうか。

答

村長

基本は、改良区です。農業が基幹産業である

幅員が狭い吉岡橋の現状を
どのように考えているか。

本村ですので、村も十分検討し対処したい。まずは、土地改良区の方で十分検討していただくことが基本になると思います。

問

町畑地区から大泉坊・迎久保地区へ行くのに利用する吉岡橋は、幅員が狭く普通車同士の交差が困難です。通行する方は、大変不便を感じている。この現状をどのように考えているか。

答

村長

今後の交通量等を勘案して整備を考えたい

吉岡橋は、昭和41年に整備され、橋長13.8m、車道幅員3.5mで集落間を結ぶ重要な橋と認識している。

吉岡橋付近の通行を見ると、幅員が狭小で相互通行していますが、特に目立った渋滞等は無く安全に通行しています。

今後、交通の状況が著しく変化し、交通量の増加に伴う渋滞等が発生し、安全性が保たれなくなる恐れが出てきたときには、橋梁の改修を含め、道路整備を考えていきたい。



幅員が狭小な吉岡橋



鈴木 新平 議員

問 県道棚倉矢吹線の中学校入口村道の交通安全対策はどのような方法で考えているか。

答 安全性を高めるため、車両感応式信号機等の設置を関係機関等に要望活動を続けていく。

問

県道棚倉矢吹線の中学校入口について、安全面を考え検討したいと以前に答弁しているが、どのような方法を考えているのか。

答

村長

道路拡幅等は、周辺用地の関係で整備が難しいことはご存じのことと思います。

現況は、押しボタン式信号機が設置され、歩行者の横断は安全に行われていますが、車両は必ずしも有効ではない。押しボタン式に加え車両用信号や車両感知式信号機が設置されれば、利便性、安全性も高まるものと考えます。しかし、信号機の設置権限は、県公安委員会有している。



中学校前の県道交差点

一般質問

信号機を設置するには、県全体の道路交通量や危険度合いなど総合的に勘案して優先順位が決定されるため、地域の要望どおりに設置されるかは未定です。今後とも様々な機会で開催に向けた要望活動を続けていくと共に、村交通安全協会等や関係機関と連携し、交通事故防止に努めていきたい。

県道棚倉矢吹線バイパス問う

二子塚以北の計画は？

問

川原田工区の着工から11年が経過するが、二子塚以北の計画路線が示されていない。村としても推進しなればならないと思うが、具体化に向かってどのようなことを考えているか。

答

村長

6月定例会の一般質問で答弁しているとおり、県において構想中であると聞いています。バイパスにおける推進活動は、県道棚倉矢吹線が通る4市町村で組織する「主要地方道棚倉矢吹線道路整備促進期成同盟会」や県の出先機関で行われる事業調整会議等で積極的に推進しています。

川原田工区の進捗は？



県道バイパスどうなるの？

問

6月定例会で、取得完了まで地権者7名、筆数12筆と答弁しているが、その後の程度協力をいただいているのか。

答

村長

県道棚倉矢吹線バイパスの用地取得の状況ですが、この事業は、



早期完成が望まれるバイパス

県において実施している事業です。私が知り得ている中で答弁します。用地の取得完了までは、現在ところ6名で11筆となっており、前回答弁から1人1筆の契約が行われたと聞いています。バイパスの早期完成は、交通安全面から見ても大変重要です。今後も、ねばり強く県への要望活動を行ってまいります。



小松 公雄 議員

問 役場庁舎内に人目を気にせず相談できる場所の設置を。

答 住民サービス向上と個人情報保護のためにも、検討したい。



役場窓口業務

問 役場を訪れる相談者に人目を気にせず相談できる場所があってもよいのではないかと。

答 村長

役場窓口は、住民生活課、税務課、会計室がそれぞれカウンター越しの対応で、主に証明書等の発行事務、各種公共料金、税の納付など支障なく業務を行っています。

保健福祉課は、子供から高齢者まで幅広い様々な相談や申請等が行われていることから、個人情報保護の観点か

ら、事務室奥に相談スペースを設けて対応している。各課に相談室を設置するには、庁舎の間取り等を考えると手狭であり、困難な状況です。

しかし、住民サービス向上、個人情報保護のためにも、相談室の設置は重要と考えている。将来的には、個別相談室は必要であり、その設置については検討していきたい。

当面は、今ある相談スペース、2階会議室等を利用して対応したい。

改善センター周辺に災害備蓄倉庫を組み入れてはどうか。

問 中島村には、備蓄倉庫がなく、備蓄もされていないときいている。改善センター周辺に防災施設として、今回の改善センター改修基本設計の中に防災備蓄倉庫を組み入れてはどうか。

学習における施設整備を進めている。

ご質問の災害備蓄倉庫は、規模、設置場所等を検討し、計画されなければならぬと考えます。

現在の防災倉庫は、役場脇の消防タンク車庫の一部を利用し必要最小限の防災資材等を確保しています。

また、毛布等の備蓄品は、福祉センター敷地内の日赤中島支部の倉庫に保管しています。

緊急時の非常用食料や水などは消費期限の

答 村長

改善センター改修基本設計は、生涯学習のための施設整備改善センター周辺施設は、老朽化等により利用できない施設もあり、その整備について基本設計を進めています。

野外学習やスポーツに有効利用できるような施設整備を目指しています。

このような観点から基本設計業務は、生涯

関係もあり、現在は保管していません。

東日本大震災で経験したように、緊急時の備えは必要不可欠であり、別途早急に検討、協議していきたい。

改善センター周辺整備についても、補助事業等を利用して進めていきたい。一つの計画に2つの事業を入れることは難しいと考えています。



防災資材を備蓄しているタンク車車庫

一般質問

議会のうごき	
11月 4日	・第28回ふくしま駅伝選手壮行会
9～10日	・第60回町村議会議長全国大会(東京都)
20日	・第28回ふくしま駅伝
23日	・村芸能発表会
26日	・子どもの国の発表会(幼稚園)
12月 2日	・議会運営委員会
9～14日	・第4回議会定例会
9日	・村内教育施設行政視察(吉子川小・児童館)
20日	・信号機供用開始式(川原田)
27日	・白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
1月 7日	・村成人式
8日	・消防団出初式、安全祈願祭、新年祝賀会
11日	・年始知事懇談会(福島市)
12日	・高重自動車運輸物流倉庫竣工パーティー(輝ら里)
29日	・東京なかじま会第24回総会(東京都)

○12月20日
川原田地区信号機
供用開始式



○1月7日
成人式



○1月8日
消防団出初式



吉子川小学校施設と 児童館新築工事を視察

12月9日吉子川小学校と児童館新築工事を視察した。

吉子川小学校では、給食の状況調査ということで、議員が各学年に分かれて児童と給食を食べました。給食のバランスも良く、量も私達議員も満足する量でした。一食当たりの単価は275円程度ということでした。

校舎の改修工事 完成箇所を実査

改修箇所は、児童の昇降口、トイレ(洋式トイレへの改修含む)、給食配膳室、楽器置場、家庭科教室などで、所期の目的は達成されていきました。



児童との給食風景

児童館新築工事は 予定どおりに進捗

工事は、内部木工事、屋根工事が盛んに行われていました。工事の進捗状況は、ほぼ予定どおり進んでいるということでした。

新年度から利用されることにより、子育て支援の一助になることが期待されます。

編集後記

村民の皆様には、平成29年の年明け健やかに迎えられたことと思います。今年一年皆様に幸多かれと御祈念いたします

今年も成人式、消防団出初式、安全祈願祭等、村の年頭行事に参加して参りました。

昨今、異常気象が当たり前になり過ぎて、何を注意すればよいのか分からなくなることがあります。私たちに何ができるのか。自然の脅威を理解して備えることが大事でしょう。

議会広報では、一般質問等において、質問、提言が、その後どうなっているかを検証していきたいと考えています。村民の御意見をどう反映できるか。共に考え進んでいきたいと思っております。

広報編集委員 椎名康夫